

住家被害認定調査等へのデジタル技術導入に係る研究会(第3回)議事要旨

【開催日】 令和6年3月26日(火) ※対面・オンライン併用形式にて開催

【議 題】

- (1) 精度検証結果(令和5年度最終)及び操作マニュアルについて
- (2) 今年度の開発システムについて(実機体験)
- (3) 損傷面積率について

【議事概要】

- (1) 精度検証結果(令和5年度最終)及び操作マニュアルについて

◆主な発言：

- AIの損傷検出について、見落としが多い状態となっている。今後の運用において、見落としがあった場合にどうするか、検討していく必要がある。
- 撮影の角度を変えることで、見落としが改善されることが確認された。

- (2) 今年度の開発システムについて(実機体験)

◆主な発言：

- 画面遷移が分かりにくい点があったので、改善していくとよい。
- 建物情報について、固定資産台帳や関連システムと連携できるとよい。
- 判定結果の信頼度表示について、%表記が分かりにくいいため、記号化するなどの検討が必要。
- 精度面について、時間帯や天気の影響が懸念される。
- 推奨される写真撮影の方法がポップアップとして表示されるとよい。
- 調査員は荷物が多くなるので、画面だけで完結されるシステムが望ましい。

- (3) 損傷面積率について

◆主な発言：

- 区市町村向けに研修会を行った際、損傷面積率の算出機能の追加を期待する意見があった。
- 損傷面積率の算出機能については、図面をシステムに取り込み、計算することを想定している。